



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料

第9号

2009年7月

〔ご挨拶〕

深谷市議会議員として、2年が過ぎました。皆様の御支援・御協力に心より感謝申し上げます。この度、長年お世話になりました「会派・草の会」から、新たに発足した「会派・風の会」に移籍させていただきましたことを御報告させていただきます。また、常任委員会の所属が福祉文教委員会委員から建設委員会副委員長となりました。今後とも皆様の御支援・御協力を宜しくお願い申し上げます。

『深谷市議会の会派とは?』

深谷市議会議員は現在33名(定数34・次回の選挙では28名)の議員で構成されております、その中で理念や政策などで一致する議員が2名以上集まることで会派を結成することができます。

『現在の会派構成』

風の会3名・彩新クラブ3名・ふかや市政研究会2名・深谷クラブ3名・公明党3名・深和会12名
市民クラブ3名・会派に属さない議員4名となっております。(7月1日現在)



左から、清水、飯野議員、新井議員
右は視察先の舞鶴市の職員の方

6月議会閉会

6月議会の議案は条文の改正等が中心でしたが、議会閉会後に開かれた議員会議において議会改革の話し合いが行なわれました。市民の皆様が開かれた議会創りの第一歩が踏み出せたことは有意義なことであると思います。

6月16日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「心、ここに在らざれば、視れども見えず、聴けども聞けず、食らえども、その味、知らず」心がここに無かったら、視ていても見えない!聴いていても聞こえない!食べても、その味が分からない。という『古典の大学』にある言葉です。弘法大師「空海」は「医王の目には道に触れて、皆、薬なり。解宝の人は鉱石を宝と見る」名医は道に生えている草の中から薬を見出し、宝を解する人は普通の石の中に宝を見つけることができる。と論じております。

「人を幸せに導く！」

真理は月のように満ち溢れていて、見る目を持った人が見れば、どんな時代でも、人を幸福に導く真理は至る所に溢れている、それに気づき、掴める人になりなさいという教えです。いまここに集中し、常に感謝報恩を胸に刻み、日々学びの場として真剣に生きていく。そんな人生を目指しております。

質問① 深谷市独自の文化継承について

(1)市歌の制定について伺います。(現在、深谷市歌はありません)市の旗や市の歌と言うのは、ある意味、深谷市のシンボルであり、市民の皆様のバックボーンのようなものではないでしょうか?

郷土を愛する心、この地に生まれたことを誇りに思うというような心を育むためにも必要であると思っておりますが、市の考えを聞かせてください。

答 弁 : 市歌の制定については、今後、検討して参ります。(2)合併前の各地域には深谷音頭・岡部音頭・重忠節や花園音頭など、最近では「おネギのマーチ」や「RIVER」などがあり、運動会や体育祭、各地の納涼祭などで歌ったり踊ったりされてきましたが、最近では、そうした機会も少なくなり、学校等でも踊られなくなってきていると聞いております。継承について市の考えを聞かせてください。

答 弁 : それぞれの地域にある音頭などは、地域の皆さんで継承活動をされていくのが一番良いことですので、市としましては出来る限りの協力はさせていただきます。

質問② 次代を担う深谷の子どもたちの通学路の安全について
(1)通学路の主管はどこなのか、今まで何度か通学路に関して質問をさせていただいておりますが、どうも責任の所在がハッキリしない答弁が多いので、敢えて質問させていただきます。
(2)通学路整備についての基本的な考えを聞かせて下さい。今までの説明では学校やPTAなどから上がってきた要望やパトロールをした結果でと聞いておりますが、どのくらいの件数が学校やPTAから上げられて、どのくらいの整備が完了しているのか、どういった観点で整備をしているのかを聞かせて下さい。
(3)通学路の定義、指定、届出、変更、指導体制はどうなっているのか聞かせて下さい。

答 弁 : 通学路に関しましては、次代を担う子どもたちの安全を考えても、とても重要です。通学路指定要綱なども視野に入れまして研究して参ります。

質問③ 産業振興について、3月議会では産学官民の協働と言う観点から、或いは農・商・工等連携促進の観点から質問をさせていただきましたが、少々不安を感じましたので今回は基本的なことを聞かせていただきます。

(1)産業振興の目的と深谷市としての基本的な考えについて聞かせて下さい。
(2)として、産業振興を行なっていく上で、商業・工業・農業・そして観光についての基本理念を聞かせて下さい。
(3)産業振興に関して、市・それぞれの事業者、そして市民の役割について、どうお考えなのか聞かせて下さい。

答 弁 : 今後、商工業を含めた産業振興計画の策定に向けて研究して参ります。

質問を終えて

通学路と産業振興に関しては、他の市でも議論が交わされ、それぞれ条例制定や要綱の策定が行なわれております。通学路は交通安全は基より最近では防犯面なども考慮して指定し整備していかなければなりません。現在の深谷市では、その辺が曖昧に感じられます。何か起こってから対応するのではなく、しっかりと決めておかなければならない事なので取り上げました。市歌の制定、花園音頭や各地の音頭の保存継承に関しては、それだけが目的ではありません。合併後の深谷市民が地域を愛し誇りに思う心の醸成の手段としての質問をしました。

特集 平成21年度の 深谷市予算 財政状況

平成21年度 深谷市の予算概要 718億9505万円(清水の分析)

一般会計	430億550万円	市の会計の中心で、市の基本的な経費をまかなう会計です。
特別会計	189億3115万円	特定の資金で、一般会計と区別して事業を行う会計です。
企業会計	99億5840万円	民間企業のように、その事業だけで独立採算を図る会計です。

ご存知のように、市では予算に基づき様々な仕事が行なわれておりますが、予算は本来、市民の皆様の生活や福祉の向上のためにあるもので、行政には毎年度の予算や財政状況を解りやすく説明する責任があります。しかし、現在の予算書や財政状況が市民の皆様に必ずしも解りやすいものにはなっておりません。そこで今回は、簡単に一般会計予算及び財政状況の説明をさせていただきます。

歳入(収入)

一般会計予算の内訳

項目	平成21年度	昨年との比較
①.市税	182億8685万円	▲8億4315万円
②.地方譲与税	7億8328万円	▲7383万円
③.利子割交付金	6137万円	▲2434万円
④.配当割交付金	2630万円	▲3543万円
⑤.株式等譲渡所得割交付金	1171万円	▲3897万円
⑥.地方消費税交付金	12億8717万円	+487万円
⑦.ゴルフ場利用税交付金	5263万円	▲520万円
⑧.自動車取得税交付金	3億7735万円	▲2億8466万円
⑨.地方特例交付金	2億4864万円	+1623万円
⑩.地方交付税	55億9463万円	+5億0292万円
⑪.交通安全対策特別交付金	3676万円	▲42万円
⑫.分担金及び負担金	12億9334万円	▲6790万円
⑬.使用料及び手数料	4億5344万円	▲708万円
⑭.国庫支出金	35億7706万円	▲2億0354万円
⑮.県支出金	20億8048万円	+3億2168万円
⑯.財産収入	1億8508万円	+151万円
⑰.繰入金	33億2656万円	+15億4694万円
⑱.繰越金	15億円	前年同額
⑲.諸収入	11億6284万円	+1億2637万円
⑳.市債	26億9000万円	▲8548万円
合計	430億0550万円	+8億5050万円

- ①の市税の内訳
個人市民税71億9618万円(対前年対比6329万円減)
※ 税率は全国一律です。
法人市民税11億6584万円(対前年5億9834万円減)
※ 経済不況の波は深谷市内の企業にも襲い掛かっている。
固定資産税82億4841万円(対前年602万円の増)
その他、軽自動車税・市たばこ税・都市計画税
- ②の地方譲与税の減少はエコカー減税や自動車重量税などの道路財源を一般財源化が影響
- ⑥の地方消費税交付金は5%の内、1%が地方へ渡され県と市が折半
- ⑦のゴルフ場利用税交付金は市内のゴルフ場利用者から徴収
- ⑧の自動車取得税の減額は自動車の販売不振や減税によるもの
- ⑫の分担金・負担金は保育園や学童等の保護者負担、消防費の寄居町負担分や民生費負担金です。
- ⑬の使用料及び手数料は各種申請書や駐車場、公共施設利用料等
- ⑭・⑮の国庫・県支出金は障害者医療・自立支援や児童・自動扶養手当、生活保護、学童、保育園運営、区画整理などへの支出金です。
- ⑯の財産収入は市有地の売払いや差押え品の売り払い等です。
- ⑰の繰入金は市の基金(貯金)の取り崩し繰り入れです。
- ⑲の諸収入は利子や配当金、市税延滞金、預託金回収、収益事業収入、雑入などです。
- ⑳の市債は市の借入に該当しますが水道事業や土木関係は全て合併特例債、臨時財政対策債は全額、国が交付税に算入します。

歳出(支出)

深谷市一般会計歳出予算(項目別)

項目	予算額	構成比(%)
①議会費	3億6483万円	0.8
②総務費	54億4966万円	12.7
③民生費	143億1115万円	33.3
④衛生費	50億8266万円	11.8
⑤労働費	2億9610万円	0.7
⑥農業産業費	15億1102万円	3.5
⑦商工費	6億4063万円	1.5
⑧土木費	59億0589万円	13.7
⑨消防費	20億0385万円	4.7
⑩教育費	39億8334万円	9.3
⑪公債費	33億4172万円	7.8
⑫諸支出金	1465万円	0
⑬予備費	1億円	0.2
合計	430億0550万円	100

◎ 民生費
額が最も多い民生費は、生活保護費はじめ高齢者や障害者福祉、保育園や児童手当等の福祉に必要なお金です。

◎ 土木費
道路・公園・市営住宅などの都市基盤の整備や維持に要するお金です。

◎ 総務費
市役所・支所の維持管理や自治会活動、公共交通、選挙等に要するお金です。

◎ 公債費
都市基盤整備の際、市が借りたお金を返済するお金です。

◎ 衛生費
予防接種や健康診断、ごみ・し尿処理等に要するお金です。

深谷市一般会計歳出予算(性質別)

※ここでは、歳出予算について、その使われ方により分類した内訳を示します。

性質	予算額	構成比(%)
①人件費	97億6780万円	22.7
②扶助費	76億9042万円	17.9
③物件費	59億2819万円	13.8
④操出金	65億3734万円	15.2
⑤補助費等	34億3017万円	8
⑥建設事業費	49億5072万円	11.5
⑦公債費	33億4172万円	7.8
⑧その他	13億5914万円	3.2
合計	430億0550万円	100

◎ 人件費
市長をはじめとする職員の給与や議員、嘱託職員の報酬等です。

◎ 扶助費
生活保護費や高齢者・障害者・児童福祉費に要するお金です。

◎ 物件費
賃金や消耗品費、委託料、保険料等の消費的な性質を持つお金です。

◎ 補助費等
市から交付する補助金や交付金、負担金等です。

◎ 操出金
各特別会計(区画整理事業や水道事業等)に対して一般会計から支出するお金です。



清水の私見

深谷市の財政状況を「家計簿」にすると!

ここでは、21年度の一般会計予算430億550万円を、年間収入430万円の家庭の家計簿にしてみます。収入の柱は、給料の183万円とパート収入の17万円、それに親からの仕送り141万円、貯金の解約33万円、借金27万円となっております。それに対して支出では、日々の生活費としての食費や光熱水費などの雑費、家族の医療費、それに子どもたちの仕送りで334万円、住宅ローンなどの借金返済に34万円、家の増築費に50万円かかっています。生活費と借金の返済だけで、収入の大部分を占める373万円の支出となる中、親戚や友人の面倒(貸付金)まで見ており、生活するのが精一杯の状況で、貯金は僅か2万円しか出来ない状況であり、余裕のある暮らしとはほど遠いのが現状です。

収入		支出	
給料(市税)	183万円	食費(人件費)	98万円
パート収入(使用料・手数料)	17万円	光熱水費等(物件費・補助金等)	94万円
親からの仕送り(国・県の補助金)(地方交付税など)	141万円	家族の医療費(扶助費)	77万円
定期貯金の解約(基金の取り崩し)	33万円	家や車の修理費(維持補修費)	5万円
繰越金(前年からの繰越金)	15万円	子どもたちへの仕送り(他の会計への操出金)	65万円
借金(市債)	27万円	借金の返済(公債費)	34万円
貸付金のうち返済してもらった分(諸収入など)	14万円	家の増築(建設事業費)	50万円
合計	430万円	親戚や友人の面倒(貸付金)	5万円
		貯金(積立金・出資金・投資等)	2万円
		合計	430万円

深谷市の家計簿

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ(48才)
家族構成 父、妻、子供3人(6人家族)犬(オス)1匹(名前ショコラ)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
 - 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
 - 深谷市PTA連合会 会長
 - 深谷市立花園小学校 PTA会長
 - 深谷市立花園中学校 PTA副会長
 - 埼玉県立深谷高校 PTA会長
 - 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
 - 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。